

せたがや 区議会だより



No.157

11/27

第3回定例会の主な会議日程

9月30日 本会議 (議案の付託、代表質問)
10月1日 本会議 (一般質問)
7日 本会議 (議案の議決)
9日~22日 決算特別委員会
25日 本会議 (会派意見、議案の議決)

発行 平成8年11月27日 〒154 世田谷区世田谷4丁目21-27 世田谷区議会 ☎(5432)1111代表

●この区議会だよりは再生紙を使用しています



竣工したキャロットタワー

平成7年度決算を認定

第3回定例会開催

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から28の案件が、議員から1つの案件が提出されました。議員提出議案については、賛成少数で否決し、その他の議案はすべて原案どおり可決しました。

●7年度各会計決算の認定 4件

○一般会計 賛成多数

○国民健康保険 賛成|自、公、新風、生活系、社新進

○国民健康保険 賛成|自、公、新風、生活系、社新進、改革、無党派

○老人保健医療会計 賛成多数

○中学校給食費会計 賛成|自、公、新風、生活系、社新進

○関係記事は2、3ページに掲載

●8年度各会計補正予算 5件

○一般会計(第一次)

○157対策や公共施設の耐震補強工事、地域保健福祉体制の整備に伴う庁舎の改修、道路用地の買収、世田谷区民会館第2別館の維持運営などの予算を追加した。

○補正額は、二億四六一九万五千円

○補正後の予算額は、二二六八億六六一九万五千円

○一般会計(第二次)(全員賛成)

○衆議院議員選挙執行に伴う予算を追加した。

○補正額は、二億四八五万八千円

○補正後の予算額は、二二七一億二二〇五万三千円

○国民健康保険事業会計(第一次)

○国民健康保険 賛成|自、公、新風、生活系、社新進、無党派

○国民健康保険 賛成|自、公、新風、生活系、社新進、改革

○当初予算に三億四七二万四千円を

追加した。補正後の予算額は、四〇九億六〇二六万四千元

○老人保健医療会計(第一次)

○老人保健医療 賛成|自、公、新風、生活系、社新進、改革、無党派

○当初予算に四三七〇万四千円を追加した。補正後の予算額は、五四五億九〇四万九千円

○中学校給食費会計(第一次)

○中学校給食費 賛成|自、公、新風、生活系、社新進、改革、無党派

○当初予算に四六六万七千円を追加した。補正後の予算額は、五億二八〇四万一千円

○条例の新設

○身体障害者デイサービスセンター条例(全員賛成)

○重度の身体障害者の自立や社会参加を促進するため、生活訓練などを行う「ふらっと船橋」(船橋4丁目3-1)を新設した。

○小・中学校適正配置等審議会条例

○小・中学校 賛成|自、公、新風、生活系、社改革派、行革、新進、改革

○区立小・中学校の適正な規模や配置などについての基本方針を定めるため、審議会を設置した。

○スポーツ振興審議会条例

○スポーツ振興 賛成|自、公、新風、生活系、社新進

○スポーツ振興法に基づき、スポーツの振興に関する調査・審議などを行う審議会を設置した。

○公の施設の区域外設置に関する協議(全員賛成)

○目黒区が整備する目黒区立東山公園の一部が世田谷区にまたがるため、この公園設置に伴う協議に承諾した。

8ページへ続く

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や
時候のあいさつ状などは禁止されています。

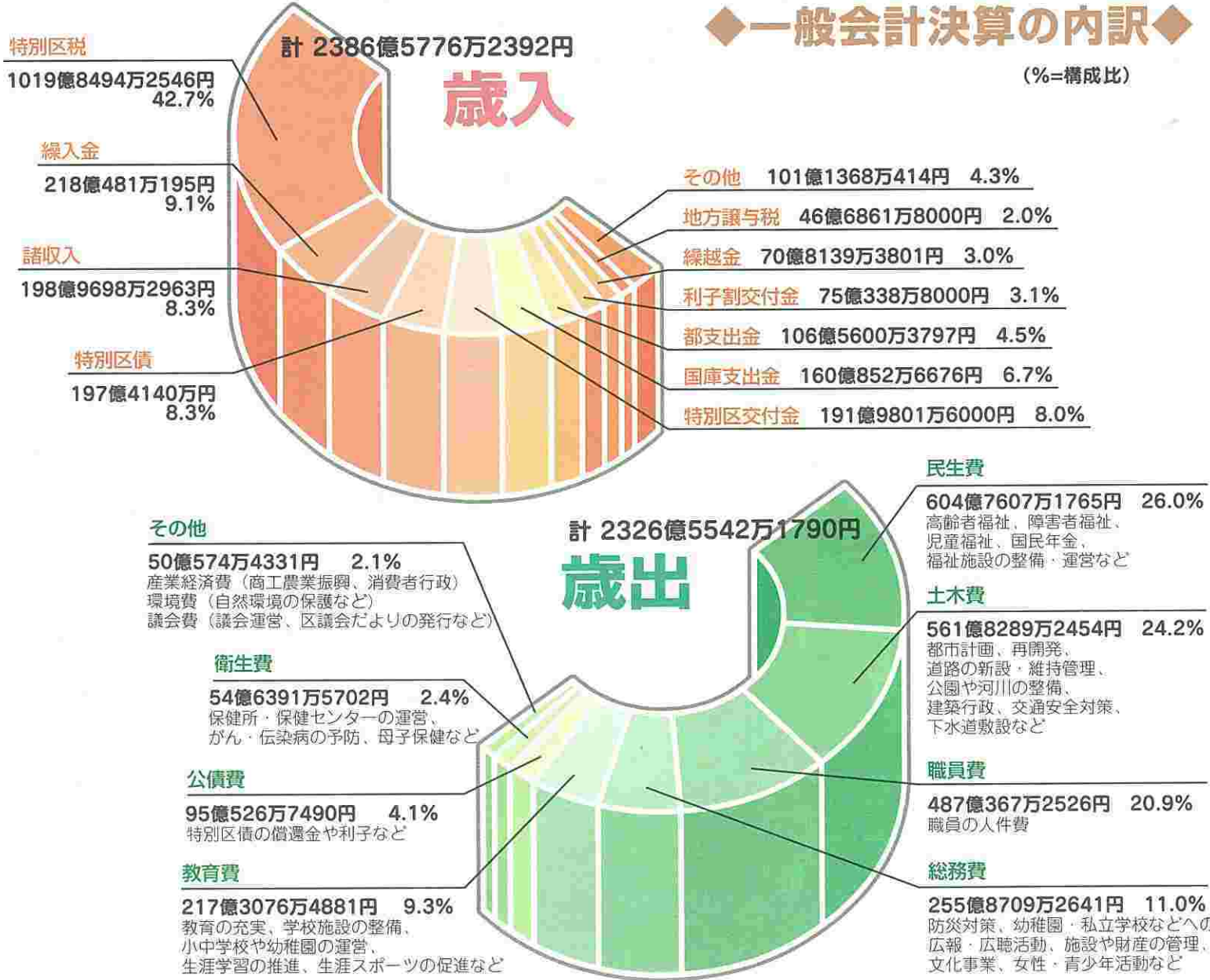
—平成7年度—

決算のあらまし

総額三二〇億円を超える平成7年度の決算を認定しました。決算の審議は、区の事業が計画(予算)どおりに行われたかをチェックするとともに、その成果をふまえて、今後の区政の進め方を考えていくという重要な役割を担っています。各会計の決算額は下表のとおりです。一般会計については、歳入・歳出決算額の内訳をグラフに表しました。決算の認定にあたり、区議会では、「決算特別委員会」を設置し、7日間にわたって区政の様々な課題について分野ごとに慎重な審議を行いました。なお、審議の主な内容は次のページに、決算に対する各会派の意見は4・5ページにそれぞれ掲載してあります。合わせてご覧ください。

◆一般会計決算の内訳◆

(%=構成比)



平成7年度各会計決算額

	歳入決算額	対前年度比 伸び率(%)	歳出決算額	対前年度比 伸び率(%)	歳入歳出差引額
一般会計	2386億5776万2392円	5.3	2326億5542万1790円	6.0	60億 234万 602円
国民健康保険事業会計	387億5622万8946円	4.1	384億 898万4131円	4.8	3億4724万4815円
老人保健医療会計	492億8180万7125円	8.5	492億3810万3258円	8.4	4370万3867円
中学校給食費会計	5億4255万2646円	-3.2	5億3785万7641円	-3.1	469万5005円
合計	3272億3835万1109円	5.6	3208億4036万6820円	6.2	63億9798万4289円

区長の区議会招集
あいさつ(要旨)

限られた財源を有効に活用し、効率的な区政運営に全力

この夏は、病原性大腸菌「O-157」による食中毒が全国各地で発生しました。区では、いち早く学校給食などの集団給食に必要な対策を講じています。9月1日の総合防災訓練では、区では初めての試みとして、避難所の設営や学生ボランティアの参加も得た訓練を実施しました。今後も、区民、事業者、行政が一体となって対応できる体制を構築するとともに、地域防災計画の大幅な見直しにも力を注ぎます。地域保健福祉をさらに充実するため、「住民活動とのパートナーシップ」と「保健福祉の統合化」を主要課題に掲げ、審議会の答申をふまえて推進計画を策定します。区民の権利を確保するため、苦情審査会も発足させます。来年4月には、総合支所単位に保健・福祉サービスを総合的に提供する地域保健福祉センターを設置します。さらに、より高度な専門性が発揮できる中央保健所を開設し、保健・福祉が一体となった施策の展開に努めます。また、身体障害者の自立を促進するため、機能訓練などを行う区立初めてのデイサービスセンターを開設します。文化生活情報センターの運営を行う財団を設立します。コミュニティの振興や交流事業の核として区民に親しまれる事業を展開していきます。エイトライナーの早期実現を目指し、国や都に強力に働きかけていくとともに、他区との連携も強化します。児童生徒数の減少の現況をふまえ、小中学校の適正な規模、配置などの方針を定めるため、審議会を設置します。また、スポーツ振興審議会を設け、スポーツ活動の拡充にも力を尽くします。依然として厳しい財政状況が続きますが、今後も、行財政改善を一層推進するとともに、必要な事業には財源を重点的に配分するなど、計画事業の着実な推進に全力を注ぎます。

決算特別委員会での

主な質問・要望事項

企画総務領域

- 自由民主党
 - 全庁挙げた行財政改革の推進
 - 財源確保への積極的な取り組み
 - 政策立案機能の強化
 - 地域行政の推進に向けた体制の充実
 - 建築届けなどの総合支所での受理
 - 使用料での受益者負担原則の徹底
 - 公共施設予約システムの柔軟な運用
 - 各種審議会の活性化
 - 職員の専門化など人事行政の強化
 - 事業の実施期間に合わせた職員配置
 - 広聴機能の一層の充実
 - 窓口での住民サービスの向上
 - 城南5区共同での火葬場建設の推進
- 公明
 - 行財政改革の断行（職員数の大幅な削減、借り上げ庁舎の整理統合など）
 - 使用料改定での激変緩和措置の実施
 - 高齢者などへの保護所利用料の減免
 - 総合支所独自の予算の十分な確保
 - 外部団体の活性化の促進
 - 監査結果を生かした事業の執行
 - 日本共産党
 - 大規模な計画事業の見直し
 - 区民利用施設使用料値上げ案の撤回
 - 都区財政調整制度の抜本的な見直し
 - 東深沢中改築案での景観問題の解決
 - 大井町線改良計画の改善の要請
- 新風 21
 - 行財政改革への強力な取り組み
 - 利用者負担を基本とした使用料改定
 - 区を挙げての空き教室の有効活用
 - 監査委員への民間人の登用
 - 生活者ネットワーク
 - NGO支援への国際交流基金の活用

区民生活領域

- 使用料の料金設定理論の確立
 - 北朝鮮への食糧援助の実施
 - 社会民主党
 - 区民施設使用料値上げ案の見直し
 - 将来を見通した財政運営
 - 長期オール与党談合区政を改革する派
 - 区長がらむ政治家癒着の実態
 - 世田谷行革110番
 - 瀬田の土地取得での有力者の関与
 - 改 革
 - 弦巻の土地交渉での不当な価格設定
 - 新進党世田谷
 - 情報化施策の積極的な推進
 - 無党派市民
 - 岩崎邸土地取得交渉の区側の違法性
- 自由民主党
 - 各地域への区立葬祭場の早期整備
 - 玉川総合支所改築の早期実現
 - 美術振興財団の効率的な運営
 - 商店街への支援強化（スタンプ事業の拡充、リサイクル体制の整備など）
 - 中小企業への緊急支援策の拡充
 - 民有地の緑を保全する支援策の強化
 - ごみ減量に向けた簡易包装の徹底
 - 家庭用生ごみ処理機の斡旋
 - 防災訓練の一層の充実
 - 災害時への支え合い活動の活用
 - 高齢者世帯への火災報知機の普及
 - 適切な場所での災害対策本部の常設
- 公明
 - 防災対策の一層の強化（情報連絡体制の充実、マンパワーの確保など）
 - リサイクルの強力な推進（回収業者への支援、ペットボトルの回収など）
 - 地区カルテのまちづくりへの活用

福祉保健領域

- 青少年の自発的活動育成事業の展開
- 青少年地区委員会の活性化
- 日本共産党
 - 安価で良質な文生の劇場事業の実施
 - 雨水浸透施設の積極的な推進
 - 自動車公害対策の強化
 - 無秩序な大型店出店への規制強化
 - 区内商業の活性化への積極的な支援
- 新風 21
 - 新たな視点での女性政策計画の策定
 - 質の高い文生センター事業の実施
 - 災害用携帯トイレの普及への啓発
 - 産業交流センターの建設の延期
 - 生活者ネットワーク
 - リサイクルの積極的な推進
 - 緑の創出に向けた施策の展開
 - 産業交流センター建設計画の見直し
 - 社会民主党
 - 震災復興を目的とした基金の創設
 - 産業交流センターの建設計画の促進
 - 長期オール与党談合区政を改革する派
 - 選挙活動を行う商店街への支援停止
 - 世田谷行革110番
 - 区主導による産業振興事業の見直し
 - 改 革
 - 区のレストラン営業計画の中止
 - 新進党世田谷
 - ごみも資源という意識啓発の促進
 - 無党派市民
 - 小坂邸等無計画な緑地買収の見直し
 - 自由民主党
 - 地域保健福祉の一層の推進（地区でのサービス提供拠点の設置、苦情審査会の効果的な活用など）
 - 福祉に配慮した街づくりの推進
 - 工夫を凝らした特養ホームの建設
 - 24時間巡回型訪問介護の全区展開
 - ショートステイでの民間病院の活用
 - 高齢者生きがい推進事業の充実
 - 検診事業の一層の拡充（新たなガン検診の実施、公害検診の充実など）
 - 中小民間病院への積極的な支援
 - アレギー相談事業の拡充
 - 予防接種率向上への取り組みの強化
 - 公明
 - 地域保健福祉の積極的な展開（苦情審査会での区民意見の施策への反映、地区のボランティアへの支援など）
 - 特養ホームと保育園の待機者の解消
 - 24時間巡回型訪問介護の強力な推進
 - 高齢者と青少年との交流機会の確保
 - 各種検診事業の内容の充実
 - 日本共産党
 - 保育園待機児の早期解消
 - 国保料値上げ中止の都への要請
 - 常勤の保健福祉マンパワーの確保
 - 多様な手法でのデイホーム事業展開
 - 食品衛生監視員の各地域への配置
 - 新風 21
 - 保健福祉事業の区民へのPRの強化
 - 福祉のボランティア休暇制度の導入
 - 保健福祉マンパワーの積極的な確保
 - 就労している障害者への支援の強化
 - 生活者ネットワーク
 - 地域の支え合い活動の一層の推進
 - 通所型グループリビング事業の実施
 - 若者の妊娠中絶の減少への取り組み
 - 社会民主党
 - 保健福祉相談事業の積極的な展開
 - 障害者施策の一層の拡充
 - 長期オール与党談合区政を改革する派
 - 医師会など圧力団体への厳正な対応
 - 世田谷行革110番
 - 財政危機下での福祉レベルの堅持
 - 改 革
 - ひなづる保育園問題の円満な解決
 - 新進党世田谷
 - 保健福祉分野での情報機器の活用
 - 無党派市民
 - 肺がん急増解明にNO、疫学調査を

都市整備領域

- 地域保健福祉の積極的な展開（苦情審査会での区民意見の施策への反映、地区のボランティアへの支援など）
- 特養ホームと保育園の待機者の解消
- 24時間巡回型訪問介護の強力な推進
- 高齢者と青少年との交流機会の確保
- 各種検診事業の内容の充実
- 日本共産党
 - 保育園待機児の早期解消
 - 国保料値上げ中止の都への要請
 - 常勤の保健福祉マンパワーの確保
 - 多様な手法でのデイホーム事業展開
 - 食品衛生監視員の各地域への配置
- 新風 21
 - 保健福祉事業の区民へのPRの強化
 - 福祉のボランティア休暇制度の導入
 - 保健福祉マンパワーの積極的な確保
 - 就労している障害者への支援の強化
 - 生活者ネットワーク
 - 地域の支え合い活動の一層の推進
 - 通所型グループリビング事業の実施
 - 若者の妊娠中絶の減少への取り組み
 - 社会民主党
 - 保健福祉相談事業の積極的な展開
 - 障害者施策の一層の拡充
 - 長期オール与党談合区政を改革する派
 - 医師会など圧力団体への厳正な対応
 - 世田谷行革110番
 - 財政危機下での福祉レベルの堅持
 - 改 革
 - ひなづる保育園問題の円満な解決
 - 新進党世田谷
 - 保健福祉分野での情報機器の活用
 - 無党派市民
 - 肺がん急増解明にNO、疫学調査を
 - 自由民主党
 - 道路整備への積極的な取り組み
 - エイトライナーの早期実現
 - 違反建築への厳正な対処
 - 高架式による小田急連立事業の推進
 - 大井町線改良計画の変更の要請
 - 玉堤地区への新たなバス路線の導入
 - 成城・烏山間のバス路線の早期導入
 - 老朽化した上野毛駅の改修の要請
 - 三軒茶屋再開発未着工区の事業推進

文教領域

- 道路上の違法占有物への規制強化
- 葬祭場の整備基準の早期策定
- 弦巻の土地の取得計画の凍結
- 瀬田の土地取得での公正性の堅持
- 公明
 - 総合支所を核とした街づくりの推進
 - 放置自転車対策の強力な展開（駐輪場の増設、鉄道事業者への要請など）
 - まちづくりセンター事業の拡充
 - 太子堂4丁目地区の街づくりの推進（住民意見の尊重、道路の整備）
 - 弦巻の土地の権利関係などの調査
 - 日本共産党
 - 都と連携した違反建築への対処
 - 住民意見を尊重した街づくりの推進
 - 弦巻の土地の取得計画の撤回
 - 住宅問題への積極的な取り組み
 - 芦花公園駅南側千歳通りの歩道整備
- 新風 21
 - 明治薬科大跡地への防災拠点の整備
 - 区民の公的な活動への区有地の活用
 - 公共基準点の早期整備
 - 都市整備公社での住宅事業の展開
 - 生活者ネットワーク
 - 街づくり協議会の設置の促進
 - 不透明な弦巻の土地交渉の事実解明
 - 放置自転車対策の積極的な推進
 - 社会民主党
 - 弦巻の土地の交渉での疑惑徹底調査
 - 狭い道路を解消する条例の制定
 - 長期オール与党談合区政を改革する派
 - 岩崎邸買収における疑惑の数々
 - 世田谷行革110番
 - 瀬田の土地取得での有力者の介入
 - 改 革
 - 国の要綱に違反する瀬田の土地評価
 - 新進党世田谷
 - 住民参加による街づくりの推進
 - 無党派市民
 - 小田急連立事業の費用再調査を行え

- 学校区単位での防災訓練の推進
- 中学校への言語聴覚障害学級の設置
- 教職員へのリサイクル意識の啓発
- 体験学習の自主的な実施校への支援
- 学校での国旗掲揚と国歌斉唱の徹底
- 小中学校での歴史教育の一層の充実
- 学校敷地内の国有地の無償取得
- 国の動向を見据えた学校教育の展開
- 東深沢中改築での屋上校庭案の再考
- 公明
 - 学校改築計画の着実な推進
 - いじめや不登校への強力な取り組み
 - LD（学習障害）児への理解の促進
 - 学校のパソコン教育の一層の推進
 - 学校でのO・157対策の強化
 - 中学校給食の自校調理方式への変更
 - 下馬幼稚園廃園問題の円満な解決
 - 日本共産党
 - 東深沢中改築案への住民意見の反映
 - 生涯学習を妨げる使用料改定での中止
 - 下馬幼稚園の廃園の見直し
 - 中学校給食の自校方式への転換
 - 小中学校宿泊事業への看護婦の同行
- 新風 21
 - 空き教室活用への具体策の早期策定
 - 学校施設の地域への積極的な開放
 - 学校でのボランティア教育の促進
 - 教員のパソコン研修の強化
 - 生活者ネットワーク
 - サケの稚魚の放流事業の見直し
 - いじめ問題への教職員の意識啓発
 - BOP事業の一層の拡充
 - 社会民主党
 - 学校改築への住民意見の反映
 - 区民の声を反映した学校の適正配置
 - 長期オール与党談合区政を改革する派
 - 学校統廃合での教委の主体性と責任
 - 世田谷行革110番
 - 教育予算を重点配分せよ
- 自由民主党
 - いじめ解消への地域との連携強化
 - 地域での少年スポーツ活動の活性化
 - パソコン教育の積極的な推進
 - 児童生徒の薬物乱用防止対策の強化



平成7年度決算認定に対する

会派意見のあらまし

10月25日の本会議で、11人の議員が各会派を代表して、平成7年度各会計決算認定に対する意見を表明しました。その要旨をお伝えします。



行財政改善

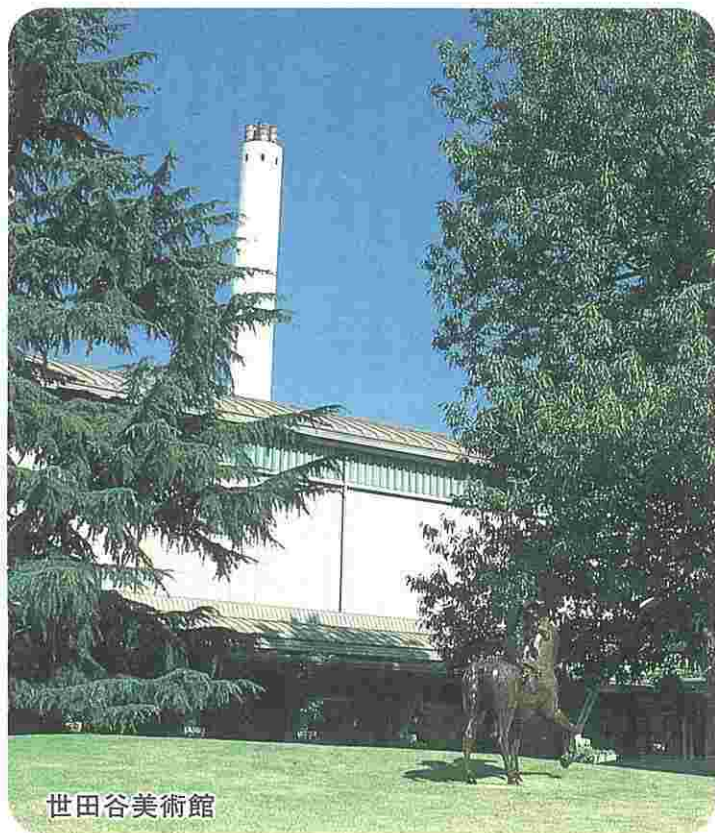
行財政改善を推進し 効率的な区政運営を

自由民主党

(賛成意見)

財政状況が厳しい中、区民福祉の向上に向け、様々な努力を払ったことを評価する。しかし、今や行財政改善の確実な実現が急務だ。具体策を早急に検討するとともに、大胆な見直しを行え。21世紀を見据えた行政運営の指針も策定し、区長が先頭に立って、改善に取り組み。また、職員の意識改革や適材適所の配置などにも努めよ。

防接種のPRにも積極的に取り組む。都市基盤の整備は、区政の重要課題だ。引き続き、道路整備には一層力を入れよ。また、悪質な建築違反には厳正に対処せよ。エイトライナーの早期実現に向け、国へ積極的に働きかけよ。大井町線改良計画では、住民の声を十分反映するよう、事業者へ強く求めよ。子どもを取り巻く環境の整備が求められている。いじめや不登校の問題解消に積極的に取り組む。また、薬物や不健全図書類の悪影響から子どもたちを守れ。教育内容の充実や学校施設の改善、スポーツ活動の振興にも力を尽くせ。さらに、小中学校敷地内の国有地の取得では、無償譲渡も含め、国に改善を強く働きかけよ。



世田谷美術館

決算特別委員会の開催時期が早められたのは、決算に対する様々な意見を翌年度の子算編成に十分反映させるためだ。この委員会での議論を生かし、今後の施策を積極的に展開していけ。地域での保健福祉サービスの確実な実行が最優先課題だ。特に、地区レベルでの施策を具体的に展開しなければならぬ。サービスの提供拠点の整備や区民との連携など、山積する課題を解決し、真に実効性ある施策を進めよ。また、9年度予算編成において、将来のサービスのあり方や方向性を明確に示せ。さらに、地域保健福祉センターの万全な体制の整備や24時間巡回型ホームヘルプサービスの全区展開、3つのゼロ作戦などを確実に実行せよ。

区内に、多くの国民が反対する消費税の増税を、断固阻止していく。7年度は、防災対策を最優先として、家具の転倒防止への助成などを迅速に行うとともに、区立特養ホームの開設や低年齢児保育の拡充など、区民福祉の向上に取り組んできたことを評価する。しかし、区は財政難を理由に、9年度から高齢者などの活動の場を奪いかねない区民施設使用料の一斉値上げを行おうとしている。この財政難の原因は、国の住専処理への税金の投入や、軍事費の増大などの影響からだ。区の財源の確保は、使用料の値上げに頼るのではなく、大規模な再開発事業の見直しなどで行うべきだ。区民の暮らし、福祉、教育を守る区政運営に徹しよ。



地域保健福祉サービスを 着実に実行せよ

公明

(賛成意見)

野に入れ、現行の複雑な条例などを体系化し直すとともに、組織の再構築などを積極的に進めよ。組織のスリム化に合わせて借り上げ庁舎を整理統合するなど、庁舎の効率的な活用にも努めよ。さらに、計画事業の見直しにも取り組みよ。

使用料の見直しでは、受益者負担の原則を導入したことは理解するが、大幅な値上げとなる施設には激変緩和措置を講じよ。さらに、青少年団体や高齢者、障害者団体などに対する減免措置にも十分配慮せよ。



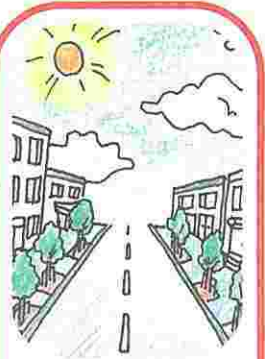
区民の立場に立った 区政改革に取り組め

日本共産党

(賛成意見)



砧公園にて



行財政改革を強力に進め 多様な区民要望に応えよ

新風 21

(賛成意見)

引き続き厳しい財政状況の中、行財政改革を確実に実行することが区の最重要課題だ。単に事業を縮小するのではなく、効果的に財源を配分するとともに、計画的に施策を展開せよ。特に、区民の安全を優先する観点から、産業交流センターなどの施設建設は一時凍結し、災害に強い街づくりの根幹となる道路の整備に力を注げ。

高齢社会への対応が急務だ。在宅介護の充実に向け、地域での支え合い活動を促進するとともに、マンパワーの確保に積極的に取り組め。地域で、きめ細かく保健福祉サービスが提供できる体制も確立せよ。

子どもが健やかに育つ環境の整備が求められている。子どもの人権を尊重し、いじめや児童虐待問題の解決に積極的に取り組め。また、延長保育を拡大するとともに、保育園の未措置児童解消に力を注げ。区立幼稚園の見直しやBOP事業の拡充などにも努めよ。

障害者が自立して生活していくためには、就労を通じて社会参加の促進が重要だ。民間企業での雇用機会の拡大に積極的に取り組め。職員の福祉活動を支援するため、ボランティア休暇制度を導入せよ。児童生徒の減少に伴い、空き教室が増えている。学校の適正配置での統廃合も視野に入れ、具体的な活用策を早急に講じよ。音楽室などの地域への開放も積極的に進めよ。

使用料の見直しでは、受益者負担を基本にするとともに、区民サービスの向上にも努めよ。地域住民の声を施策に十分反映させ、真に区民本位のサービスが提供できる体制を確立せよ。

監査委員の選任では、議員選出委員の選任方法の見直しや民間人の登用を行うなど、改善策を積極的に講じよ。弦巻の土地の取得問題に我が会派は凍結を含めて調査のうえで対応する。



区民と力を合わせて 区民福祉の向上に努めよ

生活者ネットワーク
(賛成意見)

整備を一層推進せよ。

地方分権の推進でもある平成12年の特別区制度改革の実施には、9年度中の自治法改正が必須だ。法改正を国や国会議員へ強力に要請せよ。また、事務事業移管での都との協議には、受け身にならず対等な立場で臨め。これら職務を担う職員の資質も向上させよ。ノーマライゼーションを実現するため、福祉のいえ・まち推進条例の趣旨の浸透に努め、区民や事業者の協力を得て、だれもが安心して通れる歩道の

整備を一層推進せよ。区民の区政への関心を高め、理解を得ることが重要だ。住民サービスの内容を十分PRせよ。ひつ迫した財政状況もきちんと周知せよ。そのうえで、区民との真のパートナーシップに基づく区政の実現に全力を注げ。

地域保健福祉を一層充実するには、身近な場所でのサービスの提供が必要だ。小学校区単位に拠点を整備し、NPOなどと連携してきめ細かなサービス



健全財政を維持し 区民要望の確実な実現を

社会民主党

(賛成意見)

依然厳しい財政状況だが、概ね健全な財政水準を堅持したことを評価する。今後も、財源の積極的な確保に努めよ。都区制度改革の実現に向け、区民と一丸となって国や都に強く働きかけよ。使用料の改定案は、負担の適正化をネライとしており理解できる。高齢者などへの一層の負担軽減策も検討せよ。阪神・淡路大震災の教訓を生かした総合的な防災対策の確立が急務だ。震災予防条例を制定せよ。被災者の生活を支援するため、「市民活動促進法」の制定を国に強く働きかけよ。

緑の創出に向け、歩道の緑化を促進せよ。区民の協力を得て、民間の空地を利用した植栽なども検討せよ。地域保健福祉の充実が最重要課題だ。

自民党(当時新進党)の代議士が介入し大場区長と会い、また、区長室長、建設部長を帝国ホテルや向島の料亭志松で接待をした。その席上、室長は、相手の15、16億円の要求に13億円で買う約束をした。が、当該地は、25億円



岩崎邸の買収で誰が儲けるのか

長期オール与党談合区政を改革する派
(反対意見)

の抵当権がついている不良債権で競売時の最低売却価格は4億6千万円、また、代議士が金融機関に話をつけた債権額が8億4千万円、ではその差額は誰の懐に入るのでしょうか。

スの提供体制を構築せよ。供給の主体となる活動団体も育成せよ。

学校は、地域のまちづくりの拠点として、住民に親しまれる施設となるべきだ。イベントや支え合い活動などの場として積極的に提供せよ。また、いじめや体罰などの問題を隠すことのないよう、学校で子どもの権利条約の趣旨の浸透に努めよ。

総合支所を充実させるとともに、本庁組織のスリム化を推進し、膨大な賃

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、24時間巡回型訪問介護サービスを早期に区内全域で実施せよ。マンパワーの確保にも努めよ。また、地域医療の拠点となっている国立大蔵病院の存続を、国に強く働きかけよ。

女性の社会進出とともに、保育ニーズが高まっている。延長保育の拡充や保育園の未措置児の解消に全力を注げ。学校の改築は、計画段階から現場の教師などの意見を取り入れて実施せよ。いじめ問題に対しては、地域や学校、区が一体となって取り組め。

このほか、自動車の排気ガス対策、火葬場の建設、オンブズマン条例の制定などを積極的に進めよ。



疑惑がある区政運営には反対

無党派市民

(反対意見)

区は、以前から小田急連立事業での下北沢地域の地下化の可能性を知っていたが、故意に伏せてきた。そのうえ、安価な地下掘削工法との比較もせず、都とともに事業費が安いという理由で、梅ヶ丘以西の高架化を推進してきたこ

とは犯罪だ。また、緑地保全の名目で、岩崎邸土地の不良債権救済や、元代議士一族救済のための土地取得を行うのは問題だ。区政に不可解なことも多く、決算は認定できない。



※本紙では、意見の文中に個人名を掲載しないよう編集しています。



健全財政に向けた構造改革を

世田谷行革110番

(反対意見)

区の財政は、10年度には20億円の税収が不足するという危機的な状況だ。このことは、財政事情が悪化した平成3年から5年にかけて、真剣に議論せず、再建策を講じなかつた結果である。しかも、その状況のまま区政を継続さ

せてきた。当然、7年度も無駄使いの多い決算であり、認めることはできない。今こそ、原因と責任の所在を明確にし、今後の区政運営について真剣に議論をすべきだ。



真の民主主義が実現する区政を

改 革

(一般会社と團庫計には反対する他の会社に賛成する意見)

一般会社の決算は、区長の公約である福祉最優先の内容ではない。依然として文生センターなどの箱物行政を継続しているうえ、前年の決算の反省点も生かしていない。国保会計も必要以上の予備費が計上された。この

ような決算は認定できない。また、土地の取得問題での答弁は、全く中身がない。これを認めることは、議会の責任放棄だ。議会も行政も真に住民の意思が尊重される区政を推進すべきだ。



効果的な区政運営に取り組み

新進党世田谷

(賛成意見)

事務の効率化を進めるため、OA機器などを一層活用せよ。地域保健福祉施策の拡充を図れ。地域の交流促進に向け、空き教室の開放を進めよ。また、NPOなどと連携し、地域防災組織を強化せよ。避難所体験訓練も全区で実

施せよ。安心して暮らせる街づくりも進めよ。さらに、特別区制度改革での財政自主権の確立に努めよ。授業でのインターネットの活用を図れ。また、産業交流センターの計画は見直せ。

代表質問

9月30日の本会議で、5人の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その要旨をお伝えします。

自由民主党

行財政改善に断固たる決意で取り組み



事業系有料ごみ処理券

質問 経済情勢の先行きが不透明な今こそ、行財政改善を確実に実行しなければならぬ。(ア)厳しい財政状況を克服するための具体策を早急に示せ。(イ)個々の事務事業の見直しにとどまらず、特別区制度改革なども視野に入れた総合的な年次計画を策定せよ。(ウ)適正な職員定数のあり方も明確にせよ。

区長 企画部長 (ア)歳出の削減項目の早急な洗い出しを行っている。(イ)創意工夫を凝らしながら、区民の信託に応えられる区政運営を展開していく。

質問 ごみの減量化とリサイクルの推進が急務だ。(ア)今回、ウイーン市で先進的な清掃工場を視察した。区長も訪れたことだが見解を示せ。(イ)都から移管される清掃事業の受け入れ体制を整備せよ。(ウ)事業系ゴミの有料化に際し、段ボールの無料収集など、不況に苦しむ事業者への支援策を講じよ。

区長 助役 (ア)地域に貢献できる魅力ある施設への転換が重要と考える。(イ)円滑な移管に向けて積極的に取り組む。(ウ)可能な支援のあり方を検討していく。

公明

行財政改革を断行し 区民直結の区政進展を



弦巻高齢者住宅

質問 区の危機的状態に近づきつつある財政状況を乗り切るには、抜本的な行財政改革が不可欠だ。(ア)将来の区民ニーズを視野に入れて施策の優先順位を決め、予算を配分せよ。(イ)厳しい財政状況を区民に周知し、理解を求めよ。(ウ)行政サービスに対する受益者負担のあり方などを検討せよ。(エ)時代の変化に的確に対応できる組織づくりを取り組め。(オ)施設の建設計画なども見直せよ。

区長 助役 (ア)財政政策の中間まとめの考え方を基本として取り組む。(イ)積極的にアピールする。(ウ)区民や議会の理解を得て結論を出したい。(エ)検討している。(オ)整理統合や有効活用を図る。

質問 保健福祉サービスの新たな提供体制の構築が必要だ。(ア)地域保健福祉センターは、区民要望に的確かつ迅速に対応できるものとせよ。(イ)職員意識改革を行え。(ウ)本庁組織も再編せよ。

区長 地域保健福祉推進部長 (ア)地域拠点として整備する。(イ)積極的に取り組む。(ウ)保健と福祉部門を統合する。

質問 在宅介護が行える環境整備が急務だ。(ア)介護付きファミリー住宅を供給せよ。(イ)介護に伴う住み替えに家賃助成を実施せよ。(ウ)住宅修繕資金の融資限度額を引き上げよ。

質問 阪神・淡路大震災で、防災対策の重要性と抜本的な見直しの必要性が再認識された。(ア)地域防災計画の見直しは、新たな観点から行え。(イ)重点的に予算を配分せよ。(ウ)全庁的な防災体制を強化せよ。(エ)消防署と協力して高齢者世帯に火災報知機を普及させるなど、関係機関や区民との連携に努めよ。

区長 助役 (ア)都の計画との整合や、他区との相互支援なども検討している。(イ)実行していく。(ウ)協力体制を整えていく。(エ)訓練などを通じて、実効性ある防災対策の実現に努める。

日本共産党

財政危機の中でも 区民本位の区政を進めよ



経堂駅周辺

質問 国民の多くが、消費税の増税に反対している。区長は区民の生活を守る立場から、引き上げに断固反対せよ。

区長 総選挙での国民の意思が、十分尊重されることを望む。

質問 (ア)区が行うべき行財政改革とは、巨費を投じる再開発事業などを見直すことだ。本来大切にすべき防災対策や福祉、教育施策の充実に努め、区民本位の区政を堅持せよ。(イ)区民利用施設使用料の一斉値上げ案は、区民の自主的な活動を妨げかねない。再考せよ。

区長 助役 (ア)生活者の立場から総合的な改善を考えている。(イ)区民の意見を聞き、理解を得られる案としたい。

質問 小田急線6駅周辺街づくり案の説明会では、住民の意向を聞く姿勢が見られなかった。案を撤回し、住民の意見を十分聞いて街づくりに取り組め。

区長 助役 住民と十分協議していく。

質問 ①寝たきりゼロを実現するため、(ア)訪問看護ステーションや在宅介護支援センターを5地域に整備せよ。(イ)介護人材を確保するため、ふれあい公社などの常勤職員への家賃補助を行え。

区長 助役 ②特養ホーム待機者の解消に向け、区内にミニ特養ホームを設置せよ。③保育園待機児童を解消するため、保育園の増設や保育室への支援を拡充せよ。

助役 福祉部長 ほか ①(ア)9年度中に設置する。(イ)検討したい。②今後の課

助役 (ア)検討していく。(ウ)努力する。

質問 資源ごみのリサイクルを進めるため、(ア)清掃事業移管後は、分別収集を制度化せよ。(イ)拠点施設を早急に整備せよ。(ウ)回収業者への支援も講じよ。

環境部長 (ア)検討していく。(イ)推進計画に盛り込む。(ウ)育成に努める。

質問 O-157への万全な対策に取り組みため、国や都に強く支援を求めよ。

助役 予防体制の確立に努める。

新風21

区民に分かりやすい きめ細かな区政の展開を



のびのび世田谷BOP

質問 高齢者が安心して暮らせるまちを築くには、在宅介護の充実が急務だ。(ア)区民の支え合い活動の促進は、地域の連帯感が希薄な現状をふまえ、工夫して行え。(イ)マンパワーの確保に向け、ふれあい公社の研修受講者の活用や区立養成機関の設置に力を注げ。(ウ)福祉のコーディネートを育成せよ。(エ)高齢者の進む団地にデイホームを設けよ。

助役 福祉部長 ほか (ア)実践的な活動を支援していく。(イ)人材バンクの設置や仮称保健福祉大学の設立を検討している。(ウ)研修体系を整備していく。

質問 ①今後の地区展開の中で検討したい。(ウ)子どもが健やかに成長できる環境づくりが急務だ。(ア)深刻な児童虐待問題には、関係機関と連携して積極的に取り組め。(イ)子どもの人権尊重を含め、地域社会で育てる視点から、「世田谷型エンゼルプラン」を策定せよ。

区長 福祉部長 (ア)関係機関との連絡会議で具体的に検討していく。(イ)全庁的な取り組みとして臨む。

質問 精神障害者の自立を促進するため、(ア)総合的な支援システムを確立せよ。(イ)給付5丁目への施設建設は、計画段階から地域の理解を得て進めよ。

衛生部長 (ア)施策の充実に取り組む。(イ)地域住民の参加を得て検討していく。

質問 ①活力ある区政を推進するためには、職員の育成が重要だ。(ア)専門能力を育て、生かせる人事政策を断行せよ。(イ)職員はまちの実態把握に努め、区政に反映させよ。②区の財政状況は

題としたい。③施策の充実に努める。

質問 リサイクルできない物は生産させないという大原則で、ごみ問題に取り組め。

区長 リサイクルを一層展開していく。

質問 議会会派の政務調査費報告書に領収書添付の義務付けを提唱する。

生活者ネットワーク

省エネ施策の展開に 全庁あげて取り組み



大蔵リサイクル施設

質問 原発問題など、その周辺住民に大きな負担を強いる国の政策に反対の声が強い。(ア)区長の見解を示せ。(イ)原発依存度を下げためにも、区が率先して公共施設の電力消費を削減せよ。

区長 助役 総務部長 ほか (ア)都会に住む私たちの生活につながる問題として考える。(イ)全庁あげて取り組む。

質問 使用料の改定で一部の区民施設が大幅な値上げとなる。区民への十分な説明とともに、激変緩和策も講じよ。

助役 利用団体などから幅広い意見を聞き、さらに検討を進める。

大変厳しい。既存施策の見直しなどの実行を要望する。

区長 ①(ア)自己啓発などへの支援を拡充する。(イ)活力ある組織づくりを行う。



赤松公園にて

質問 ①子どもを安心して生み育てられるよう、(ア)子ども家庭支援センターと保育園での相談事業を積極的に展開せよ。(イ)一時保育を全園で実施せよ。②少子化の進む環7内側地域へ、ファミリー向け住宅を重点的に供給せよ。

助役 福祉部長 ほか ①(ア)必要な支援ができる仕組みをつくる。(イ)多様な保育需要に応える。②適正配置に努める。

質問 ①容器包装リサイクル法の施行に備え、(ア)ペットボトルなどの分別回収を都と協議して推進せよ。(イ)都に財政支援を求めよ。②リサイクルセンターを早急に建設せよ。③空き店舗をリサイクル活動に有効活用せよ。

環境部長 ほか ①(ア)都が、事業者による店頭回収を検討している。(イ)要請していく。②努力する。③検討していく。

質問 環境にやさしい街をつくるため、(ア)緑化促進の助成策を充実せよ。(イ)世田谷市場の屋上や壁面の緑化を都に求めよ。(ウ)公共交通の整備を促進せよ。

区長 道路整備部長 (ア)緑を大切にしていける。(イ)引き続き協議する。(ウ)環境に配慮した輸送手段の整備が課題だ。

一般質問

10月1日の本会議で、16人の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その要旨をお伝えします。



エネルギー政策について
(企画総務領域) ほか

新風21 環境にやさしいエネルギーの創出が求められている。子どもの環境教育や、経費の節減にも有効な風力発電の施設を、区民健康村に設置せよ。

企画部長 他自治体を参考に、場所や風力などの調査を考へたい。

自民 ①多くの区民が、区立火葬場の建設を望んでいる。都府地の地下部分への建設を研究するなど、候補地の選定に積極的に関わり、②最近の当区議会に関する新聞報道には、記事の誤りが目立つ。報道機関に対し、正しい報道に努めるよう強く求める。

区長 助役 ①都に要請中の他区との共同設置案も含めて、検討していく。

共産 国民の知る権利の保障が求められる中、宮城県の実験が求められる。判決は、個人名の公開を命じた。区でも懇談会出席者の氏名を公表せよ。

(イ)フロッピーでの情報提供に取り組み

助役 総務部長 (ア)個々に判断していく。(イ)検討していきたい。

社民 地域行政制度を充実させるとともに、本庁組織のスリム化を図れ。

助役 バランスよく体制を整備する。

改革派 区長などが商店連合会の幹部と料理屋で宴会をし、補助金をちらつかせて7選の支援と資金集めのパーティー券の購入を依頼したのは問題だ。

区長 助役 収入役 役員の改選に伴う懇談の申し入れを受けて出席したが、再選の話や購入依頼などはしていない。

改革派 区財政が厳しい中、都区財政調整の当区への交付金の未払い額は、70億円にもなる。都立公園を代わり取るぐらいの強い姿勢で、都に財源措置を求めよ。

企画部長 適切な措置を求めていく。

改革 景気の停滞などにより、区の財政は危機的な状態だ。国や都も同じ状況で、援助は当てにできない。今こそ、単なる事務改善ではなく、真の行政改革を断行すべきだ。①職員定数適正化計画と行革大綱を早急に策定せよ。②人員削減について、(ア)職員組合が障害となっているのではないのか。(イ)削減の目標人数と実施方法を具体的に示せ。③歳出を抑制すべき時期に、高額の瀬田4丁目土地を購入する理由を示せ。

助役 総務部長 ①職員が丸となく、行財政改善に取り組みたい。②(ア)様々な協力を得ている。(イ)さらなる適正化を図っていく。③国分寺崖線上の樹林地保全のためだ。

新進 本庁や総合支所にテレビ会議システムを導入するなど、会議の効率化を一層推進せよ。

総務部長 OA機器などの活用を図る。



防災対策の充実について
(区民生活・文教領域) ほか

公明 災害から区民を守るため、(ア)住宅改修費助成などを充実せよ。(イ)学校の防災拠点化を進めよ。(ウ)災害時に有効な情報網を整備せよ。(エ)燃えない街を目指し、新たな街づくりを展開せよ。

区長 教育長 住宅政策部長 (ア)限度額を増額する。(イ)機能を整える。(ウ)導入を検討する。(エ)安全な街を目指す。

生活派 防災施策では、震災後の対策も重要だ。(ア)仮設住宅は住み慣れた地域に設けよ。(イ)被災者のメンタルケアの提供体制を整えよ。(ウ)地域と連携し、福祉施設入所者の安全確保も講じよ。

助役 福祉部長 (ア)都と共同で検討している。(イ)具体的な手法を考えた。(ウ)防災計画の中に位置付けていく。

新進 真の男女共同参画社会を目指し、区独自の事業を積極的に展開せよ。

区長 新たな計画を策定していく。

社民 地域特性に合った街づくりを進めるため、総合支所の体制を強化せよ。

助役 検討を進めている。

新進 避難所体験研修を全地域で行え。総合支所長 全区での展開を目指す。

公明 ①地域と連携し、薬物乱用や有害図書などへの対策を強めよ。②ピンクチャリの規制強化を都に働きかけよ。

助役 ①家庭・学校・地域との協力体制を築いていく。②検討する。

新進 災害時に協力を得るためにも、ボランティア団体間の連携強化を図れ。

助役 支援のあり方を考えていく。

共産 中学校給食は、食中毒の大量発生を防ぐためにも、自校方式に変えよ。

教育長 総合的に検討している。

新風21 児童生徒数の減少に伴い、小中学校に未利用スペースが増えている。(ア)新たに設置される小中学校適正配置等審議会では、統廃合も視野に入れて論議せよ。(イ)空き教室の具体的な活用策も早急に講じよ。

教育長 (ア)中長期的な視点に立ち、魅力ある学校づくりに取り組む。(イ)検討委員会を設置し、幅広い見地から総合的に検討を進めている。

生活派 男女混合名簿を採用するなど、学校での男女平等教育を促進せよ。

助役 教育長 意識啓発に努める。

改革派 以前にプール事故を起こした中学校で、再び同じ事故が発生した。区の責任は逃れられない。見解を示せ。

学校教育部長 原因究明を厳しく行い、水泳の指導方法の改善を徹底する。



保健福祉施策の拡充について
(福祉保健領域) ほか

共産 (ア)保健福祉の充実に向けた保健所と福祉事務所の統合が、玉川総合支所では保健施設や土木課、街づくり課が分散し、かえって不便になる。区民の利便性を最優先にした計画とせよ。(イ)玉川地域ではリハビリ事業を実施するなど、保健福祉施策を総合的に行え。

助役 玉川総合支所長 (ア)今後検討していく。(イ)実施に向け取り組んでいる。

生活派 食品の安全性を確保するため、(ア)情報提供や検査の体制を整備せよ。(イ)学校給食の食材の一括購入は見直せよ。

衛生部長 (ア)充実、強化に努める。(イ)厳重なチェック体制を取っている。

自民 区民の健康を守るため、医療・福祉施策の充実が急務だ。(ア)伝染病予防に有効な予防接種の接種率が上がるよう、重要性を十分周知せよ。(イ)前立腺ガンや喉頭ガン検診を実施せよ。(ウ)国立小児病院跡地に、人材の養成などを行う拠点として「福祉医療大学」の建設を計画せよ。(エ)アレルギー相談事業の拡充に努めよ。(フ)医療や福祉情報を提供するシステムを確立せよ。

区長 助役 衛生部長 (ア)医師会とも協議しながら有効なPR方法を検討する。(イ)実現に向け努力する。(ウ)人材の育成に努めよ。(エ)より有効なシステムの確立に向け、関係機関と協議する。(フ)情報提供のあり方を検討する。

公明 高齢者が安心して住み続けられるよう、在宅福祉の充実が急務だ。①住宅改修費の助成事業は、(ア)予算を十分確保せよ。(イ)改修も助成対象に加えよ。(ウ)相談から改修完了までの期間の短縮に努めよ。(エ)相談窓口で建築の専門職員を配置するなど、窓口対応を改善せよ。②住宅改修のモデルルームを早期に設置せよ。③在宅介護支援センターの増設に力を注げ。

助役 高齢対策部長 ①(ア)十分に予算措置している。(イ)検討していく。(ウ)効果的な体制づくりを考へる。(エ)効果的な相談体制を整える。②仮称福祉用具センター構想の中で、具体化したい。

社民 9年度中に3カ所設置したい。

社民 地方分権が進む中、地域特性に合った保健福祉サービスの提供が求められている。①執行体制の整備に努めよ。②保健福祉の苦情審査会は、(ア)関連する全ての苦情を対象とせよ。(イ)区民の声を区政に反映させる場とせよ。③区民や事業者との連携強化も図れ。

助役 福祉部長 (ア)新たな体制を整備する。(イ)全てを扱う。(ウ)施策の改善に役立てる。(エ)積極的に取り組む。

共産 乳幼児医療費助成制度の所得制限を撤廃せよ。

福祉部長 今後検討していきたい。

自民 高齢者が、自宅で安心して暮らし続けられる環境づくりが急務だ。(ア)在宅介護施設の実施に努めよ。(イ)在宅介護時間貯蓄制度を創設せよ。

区長 (ア)区民の協力を得ながら、在宅福祉の拡充に努めていく。

公明 現在地でのひななる保育園存続問題は、地域の声を重視して解決せよ。

福祉部長 円滑な移転に向け努力する。

街づくり会議 街づくりについて
(都市整備領域) ほか

自民 ①成城学園前駅周辺街づくりでは、(ア)地元からの要望事項を十分ふまえて行え。(イ)協議会づくりも働きかけよ。②喜多見駅周辺街づくりでは、都道の拡幅で立ち退く商店が引き続き地元で営業できるように、高架下の利用を事業者へ要請せよ。

助役 産業振興部長 ①(ア)事業者とも検討している。(イ)地元住民と組織づくりを協議したい。②商店街と事業者が協議し合えるよう支援していく。

共産 ①経堂駅周辺街づくりでは、(ア)住民意見を反映した構想案に変えよ。(イ)操車場跡地に公園を整備せよ。②住宅地を通る都道の計画を中止せよ。

助役 都市整備部長 ①(ア)必要なものは見直す。(イ)憩いの場の確保を働きかける。②住民意見の反映を求める。件だが、(ウ)破綻寸前の財政的な巨額を投じるのか。(イ)区の買収決定後25億円の抵当権が設定されるなど面妖だ。某財閥の救済ではないのか。(ウ)某氏は、有力な代議士だった。どういふルールで話があったのか。

助役 (ア)基本計画などに掲げる、良好な樹林地の保全の目的で取得する。

改革派 瀬田4丁目での土地取得は、寄贈される建物の借地権や移転補償費の実態が不明瞭で、重大な疑義がある。

助役 都市整備部長 借地権は、後日説明する。補償は他の建物の分だ。

無所属 ①小田急線連立事業は、地下式の方が事業費が安上がりだ。なぜ、梅ヶ丘以東の調査で、高架と地下での事業費を比較検討していないのか。②最新の地下鉄工技術への見解を示せ。

道路整備部長 ①物理的な面から、課題を整理し、複数の案を検討した。

自民 東急新玉川線の混雑を緩和するために、大井町線の三子玉川・大岡山間の改良工事の計画が一方的に示された。この計画では、上野毛、等々力、九品仏の三駅で、改札口が地上から地下に変わり不便となる。そのうえ、急行電車の新たな運行で本数が増加し、踏切の遮断時間が長くなり交通渋滞の発生も予想される。そのため地域住民は大きな不安を感じている。区は、周辺住民の意見を十分把握し、鉄道事業者にも、鉄道の立体化などを含めた事業計画の見直しを、強く働きかけよ。

道路整備部長 住民の意見が十分反映され、改良計画が地元のまちづくりに有効に働くよう事業者へ要請する。

新進 小田急線沿線街づくりの協議会には、幅広い区民の参画を得よ。

住宅政策部長 住民参加の街づくりを一層推進していく。

無所属 宮坂1丁目の違法建築問題の処理は脱法行為だ。厳正に対処せよ。

都市整備部長 厳正に指導していく。

自民 自然環境の保全に向け、(ア)ミニ住宅開発への指導を強化せよ。(イ)風致地区の違反建築には、厳正に対処せよ。

区長 都市整備部長 (ア)総合的に対応できる組織体制の整備を検討している。

共産 京王線の駅と希望丘地区を結ぶバス路線を早期に導入せよ。

助役 既存路線を含めた調整が課題だ。

無所属 瀬田の小坂邸土地は、区が取得の意向を決めた後に、所有権移転や抵当権の設定が行われるなど、疑義が多い。取得計画を白紙撤回せよ。

助役 建設部長 契約日以前に抵当権を抹消することが契約の条件だ。

※本紙では、質問の文中に個人名を掲載しないよう編集しています。

第4回定例会は11月27日から12月4日まで開催しています

議決内容の続き

●条例の改正 7件
○区民会館条例
賛成多数 賛成：自、公、新風、生活ネ、社、新進
反対：共、改革派、行革、改革、無党派

○世田谷区民会館第2別館を新設し、運営管理を委託するとともに、利用料金制度を導入した。ことなど、施設内容：会議室、談話コーナー、展望ロビー、レストラン

○財団法人に対する助成等に関する条例
賛成多数 賛成：自、公、新風、生活ネ、社、新進
反対：共、改革派、行革、改革、無党派

○区営住宅管理条例(全員賛成)
深沢4丁目住宅の建て替えに伴い、名称を「深沢4丁目アパート」に変更するとともに、使用料を改めたことなど。

○特定公共賃貸住宅条例(全員賛成)
次の特定公共賃貸住宅を新設した。

Table with columns: 住宅名, 所在地. Rows: 経堂4丁目 経堂4丁目13-11, 深沢4丁目 深沢4丁目17-1・3

○自転車等の安全利用促進及び自転車等駐車対策の総合的推進条例(全員賛成)
次の自転車等駐車を新設した。

Table with columns: 駐車場名, 所在地. Rows: 成城南 成城2丁目26-16, 成城南第2 成城2丁目25-8

○公園条例(全員賛成)
「給田あやめ公園(給田4丁目30-14)」を新設した。

○身近な広場条例(全員賛成)
「鎌田つつみ広場(鎌田3丁目4-1)」を新設した。

●条例の廃止 1件
(全員賛成)
○優生保護相談所設置条例
優生保護法の改正に伴い、優生保護相談所を廃止した。

●財産の取得 2件
○世田谷区民会館第2別館用建築物の一部
賛成多数 賛成：自、公、新風、生活ネ、社、新進
反対：共、改革派、行革、改革、無党派

○世田谷区民会館第2別館を設置するため、キャロットタワー(太子堂4丁目1-1)の26階部分の一部を取得する。

○仮称瀬田4丁目緑地用地
賛成多数 賛成：自、公、新風、生活ネ、社、新進
反対：共、改革派、行革、改革、無党派

○買収面積：九四六六・二五㎡
買収金額：三億二〇〇三万四七〇五円

○区道路線の認定・廃止 4件
所在地：瀬田4丁目104-1・7・1

Table with columns: 区分, 所在地, 延長(m). Rows: 太子堂4丁目1, 給田4丁目30, 北鳥山1丁目1, 廃止 桜丘1丁目19

○人権擁護委員候補者の推薦 1件
(全員賛成)
次の候補者を法務大臣に対し推薦することにした。

- 長谷川重夫 (上馬4丁目12-3) 養護施設長 再任
植松英二 (代田3丁目47-9) 幼児施設園長 再任
松本三樹夫 (下馬5丁目30-2) 弁護士 再任
矢島嗣久 (代沢3丁目25-3) 神職 新任

○世田谷区の土地取得の調査に関する決議
弦巻2丁目の土地取得交渉などにおける疑義を究明するため、地方自治法第100条に基づく委員会の設置が求められた。

◆採択したもの 2件
○「世田谷清掃工場の建替え」に関する請願
趣旨採択しました。

○自転車駐車施設促進に関する請願
「願意に沿うよう努力されたい」との意見を付けました。

○区民施設利用料に関する陳情
(仮称) 碓氷の建設に反対の請願
(仮称) 碓氷の建設に反対の請願
(仮称) 碓氷の建設に反対の請願

◆企画総務委員会審査するもの 7件
○東京都の類似幼稚園保護者補助金打ち切りに関する請願

○区民センター・地区会館や体育施設等の区民利用施設の有料化に反対する請願

○法務局出張所の統廃合計画等に関する陳情

○不動産登記に係わる登録免許税制の抜本的見直し等に関する陳情

○消費税率5%引き上げの中止と医療へのゼロ税率課税の適用を求める陳情

○区民会館・集会所等の使用料の値上げに反対する請願

○区民センター・地区会館や体育施設等の区民利用施設の有料化に反対する陳情

◆区民生活委員会審査するもの 1件
○除籍簿、消滅された戸籍の附票等の保存期間の延長に関する陳情

◆福祉保健委員会審査するもの 4件
○「ひなづる保育園」存続に向けての陳情

○精神障害者に対する世田谷区心身障害者福祉手当の受給に関する請願

○高齢者・障害者の健康と福祉増進のための鍼灸・按摩・マッサージ・指圧施術の助成に関する陳情

○民間保育園の運営改善のための平成9年度保育予算算案を求める陳情

◆都市整備委員会審査するもの 8件
○桜上水3丁目公園の球場設置反対に関する陳情

○宅地開発に関する陳情(成城4丁目27番)

○「街づくり協議会」設立に関する請願

○祖師谷大蔵地区に「街づくり協議会」の設立を求める陳情

○羽根木公園アールの温水プールへの建てかえを求める請願

○武蔵丘小学校前通りの車椅子での通行が容易になるよう改善を求める請願

○(仮称) 用賀玉川台マンション新築工事に関する陳情

○(仮称) フジマル経営ビル建設に伴う交通問題に関する陳情

◆文教委員会審査するもの 1件
○区立図書館の充実・発展に関する陳情

◆正副委員長相互の報告
○決算特別委員長 小谷 勝委員(自民)
○決算特別副委員長 増田 信之委員(公明)
長谷川 佳寿子委員(生活ネ)

請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などお知らせします。

審議が終わったもの
(賛否が分かれたものについては、賛否の内訳を表示しました。表示のないものについては、全員賛成です。)

Table showing party membership counts: 自由民主党区議団 21人, 公明区議団 11人, 日本共産党区議団 6人, etc.

会派の変更
「新進党区議団」は、7月8日付けで、2名の会派を解消し、斉藤りえ子議員が「新進党世田谷」を、鈴木義浩議員が「改革」を結成しました。また、会派結成届未提出のため、無所属の扱いとなっていた木下泰之議員から、10月7日に「無党派市民」の会派結成届けが提出されました。11月1日には、「新進党世田谷」の斉藤りえ子議員が、会派を解消し、「新風21」に加わりました。この結果、区議会の会派構成は、次のとおりになりました。

編集後記
○今回の定例会では、行財政改善の推進や地域保健福祉施策の充実など、様々な区政の課題について議論しました。
○本紙に掲載された質問や答弁等の内容を詳しくお知りになりたい方は、会議録(本会議の分は発行済み、決算特別委員会の分は1月上旬発行予定)をご覧ください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、区民センターに備えてあります。

ふるさとせたがや -あの日 この頃-
今号でご紹介する写真は、昭和36年頃の奥沢駅付近です。「奥沢」という地名は、呑川流域の七沢の一つで、上流地域を「奥深い沢」と呼んでいたところ「深い」が省かれて「奥沢」となったということです。
この辺りはその昔、田畑と竹やぶの広がる農村でしたが、大正12年の目蒲線の開通により宅地化が進み、人口が急増しました。昭和2年には玉川地域で計画的な耕地整理事業が展開され、起伏に富む丘陵地は、基盤の目のように道路が整備されて、今日のような閑静な住宅地を形成してまいりました。
今後は、目蒲線は宮内南北線・都営三田線との間で相互乗り入れが行なわれるため、奥沢駅も都心と直結され、街のさらなる発展が期待されます。